

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	利用者、家族から多くある要望は、面会、外出、外泊に関する事です。現在は玄関ホールでの面会のみ可能ですが、各居室での面会、また外泊、外出には制限が続いています。徐々にですが、面会方法の変更、外出制限の一部解除は行っていけると思います。 意見や要望に対しては面会時や電話連絡の際に家族から意見や要望を伺うようにしていますが、全ての意見や要望を聞き出せていないように思えます。	意見や要望を利用者や家族が話しやすく、伝えやすい職員、施設である。	・面会方法の再検討を行う。 居室内での面会の再開 ※感染症の状況を考慮しながら※ ・家族には面会時に日頃の様子を職員から伝えるようにします。 ・定期的に施設での様子や出来事を写真を交え、ホーム便りを作成し配布します。	3ヶ月
2	13	施設から外(敷地内)への避難訓練は年2回行っています。ですが、施設から避難場所への移動は様々な課題が考えられます。夜間や天候などにより色々な選択肢を考えなければならない。また日頃から自治会や同じ地域内の他高齢者施設との連携を築く必要がある。	災害による被害をできるだけ最小限にするため、災害が発生した際にとるべき行動がイメージできるように、日頃の備えや、様々な状況を想定しての訓練を行う。	・年2回の総合防災訓練 ・施設から避難場所への避難訓練 ・既存のマニュアルの改善 (写真など用いて、目で見てわかりやすいマニュアル作成)	6ヶ月
3					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。